資料－３

赤川水系流域懇談会

赤川水系河川整備計画（県管理区間）の進捗状況について

平成26年12月19日

山形県　県土整備部　河川課

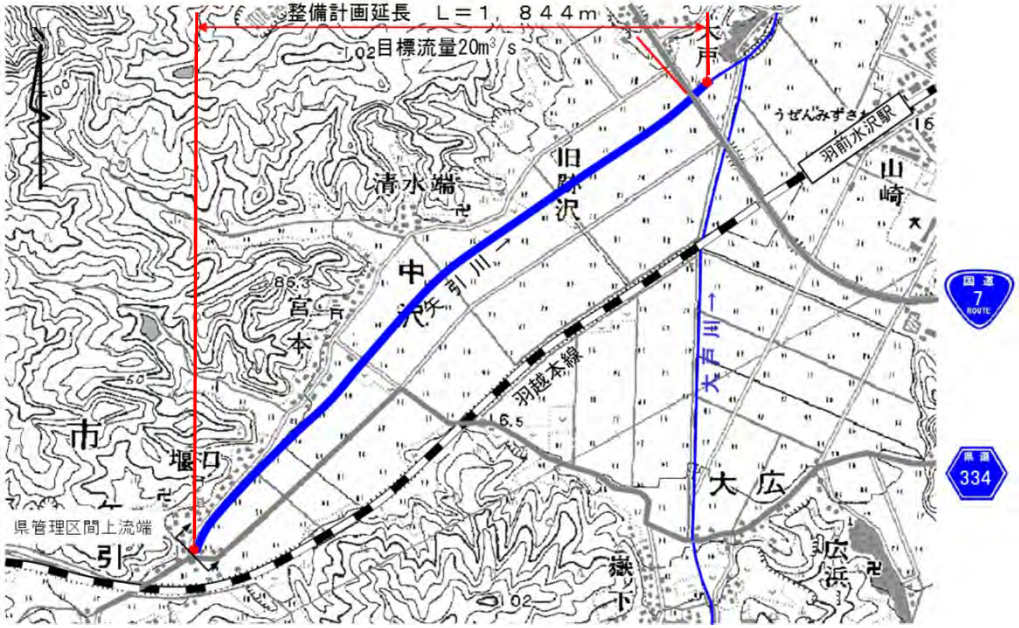
赤川水系河川整備計画の整備対象河川

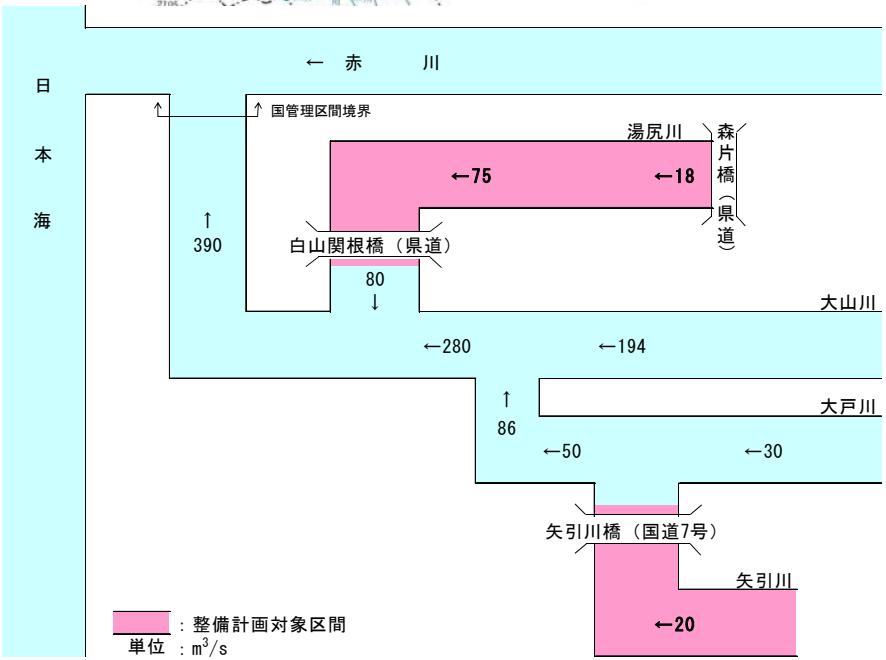


【湯尻川】



【矢引川】

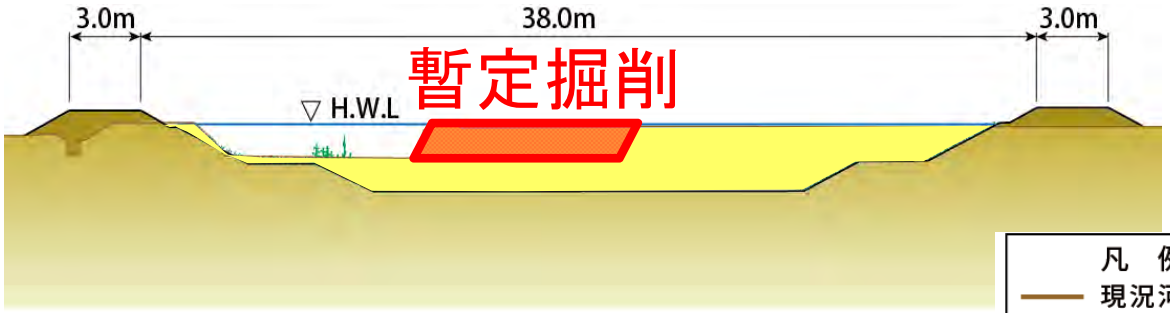




【湯尻川】の進捗状況

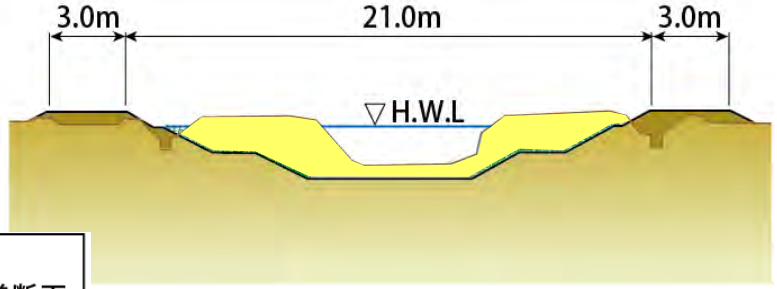
【治水上の目標】
　下流大山川の現況流下能力を勘案しつつ、近年の主要洪水である平成19年6月洪水と同規模の洪水を安全に流下させる。

河道の整備	•築堤・河道掘削により流下能力を拡大する。
配慮事項	• 景観、生物等に配慮し、広く住民の意見を取り入れながら自然環境の保全に努め、親水性にも配慮する。 • 護岸は、治水上、必要最小限の設置とし、自然環境に配慮したタイプを採用する。 • 河川工事に際しては、濁水の流出防止等に配慮する。 • 中上流域では、野鳥やホタル等の生息環境の保全に努める。



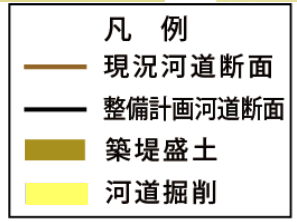
湯尻川標準断面図

（中・下流区間：目標流量75m3/s）



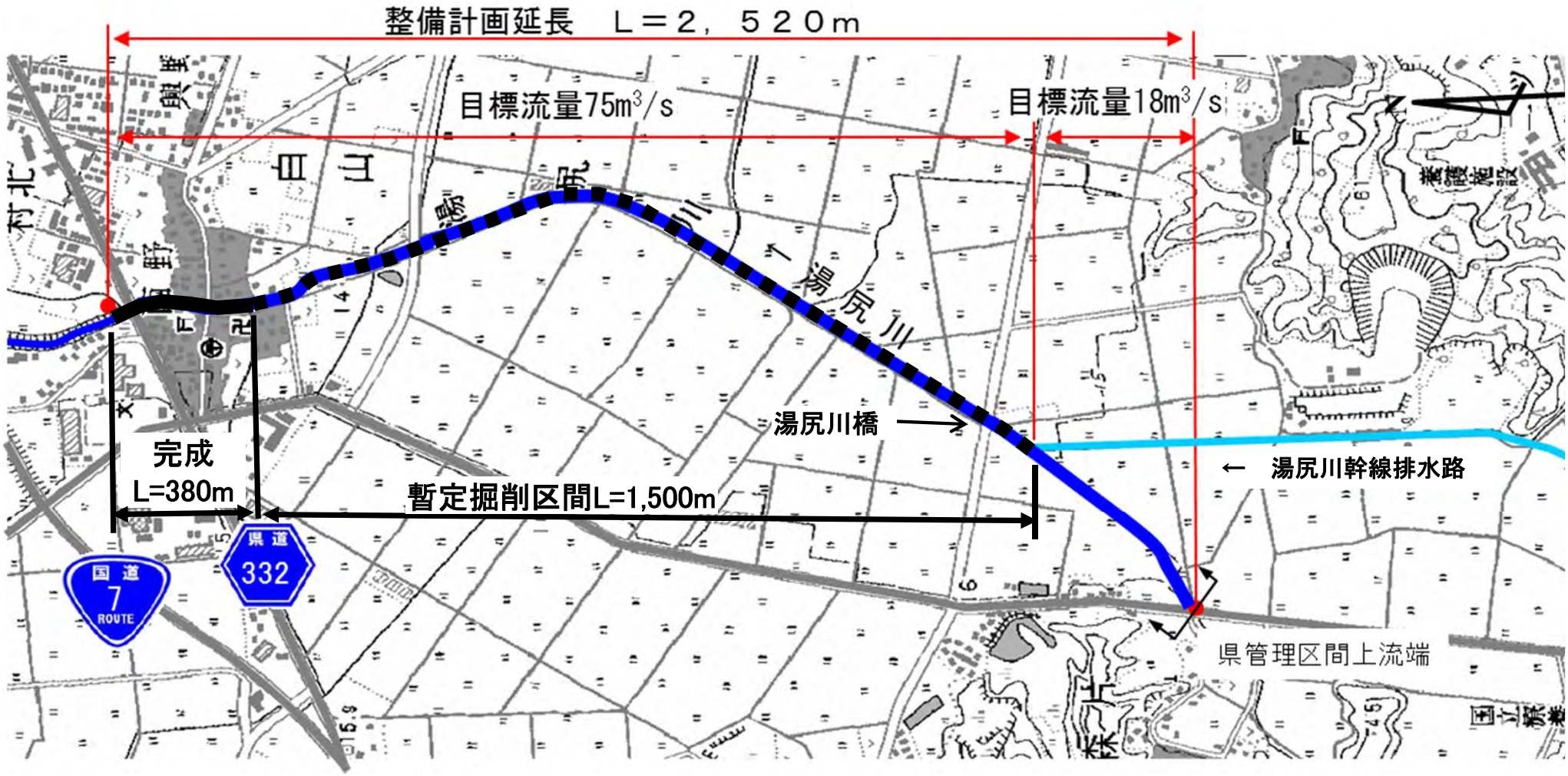
湯尻川標準断面図

（上流区間：目標流量18m3/s）

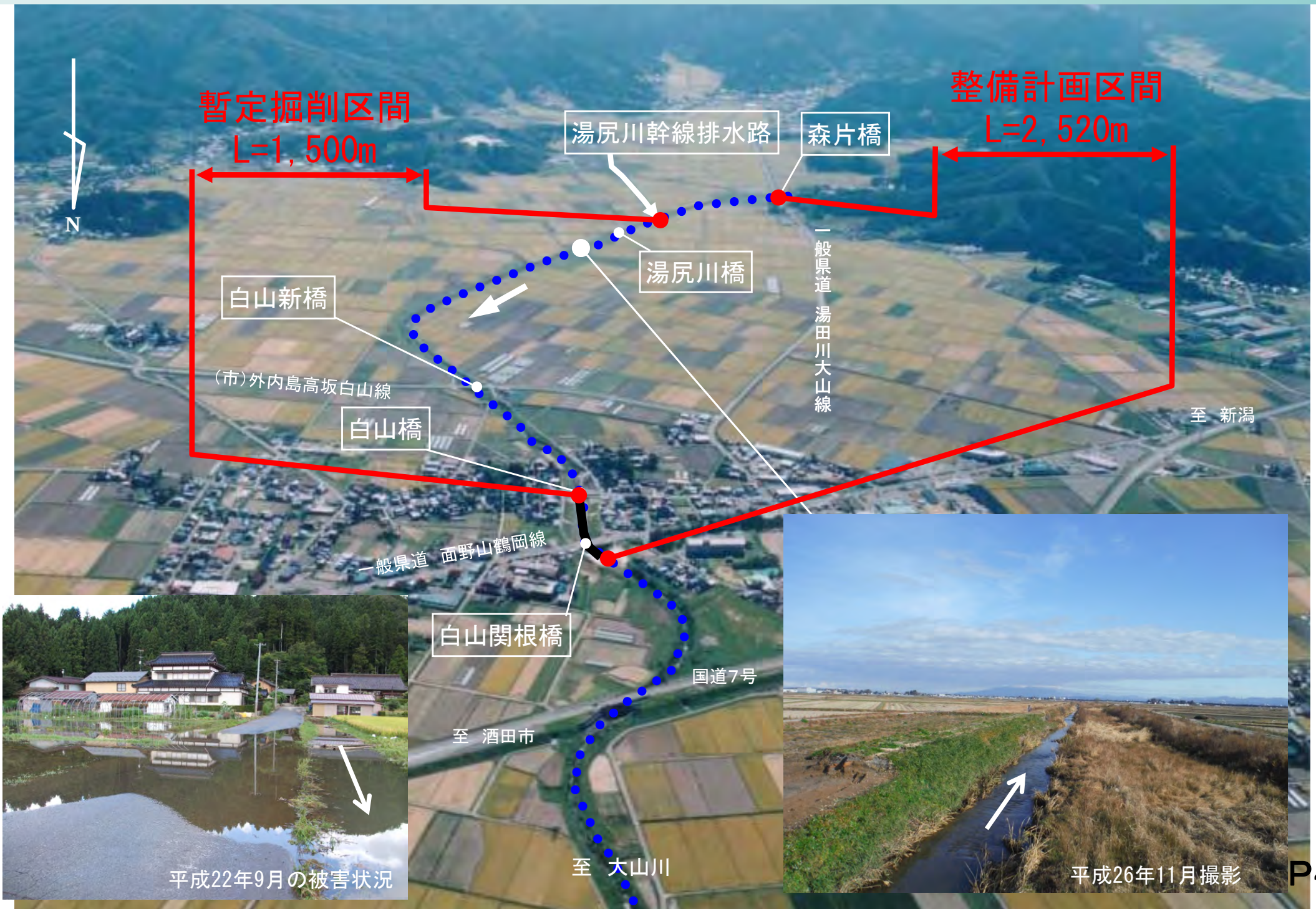


【湯尻川】の進捗状況

全体事業費　　:43億円、　事業期間:H3～H42
H26末進捗率　:全体70%　（工事57%、用地補償88%）



【湯尻川】の進捗状況（全景）



平成22年9月の被害状況

平成26年11月撮影

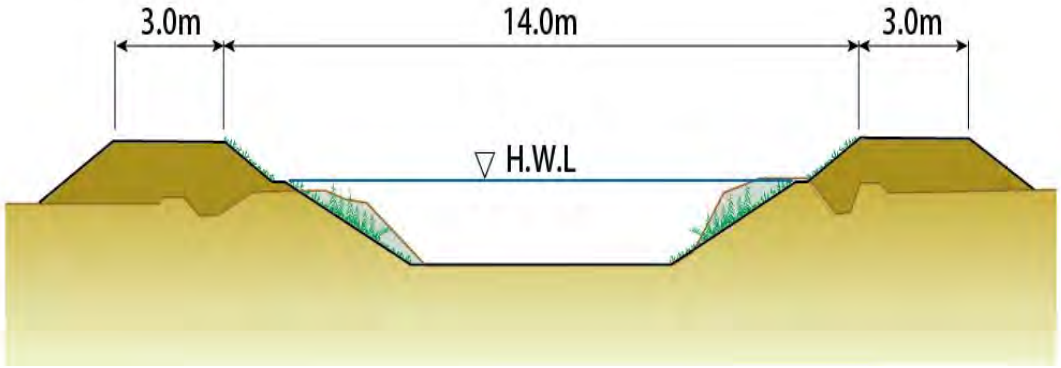
【湯尻川】の進捗状況（暫定掘削）



【矢引川】の進捗状況

【治水上の目標】
　上流に位置する無堤区間の解消を図り、近年の主要洪水である昭和51年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させる。

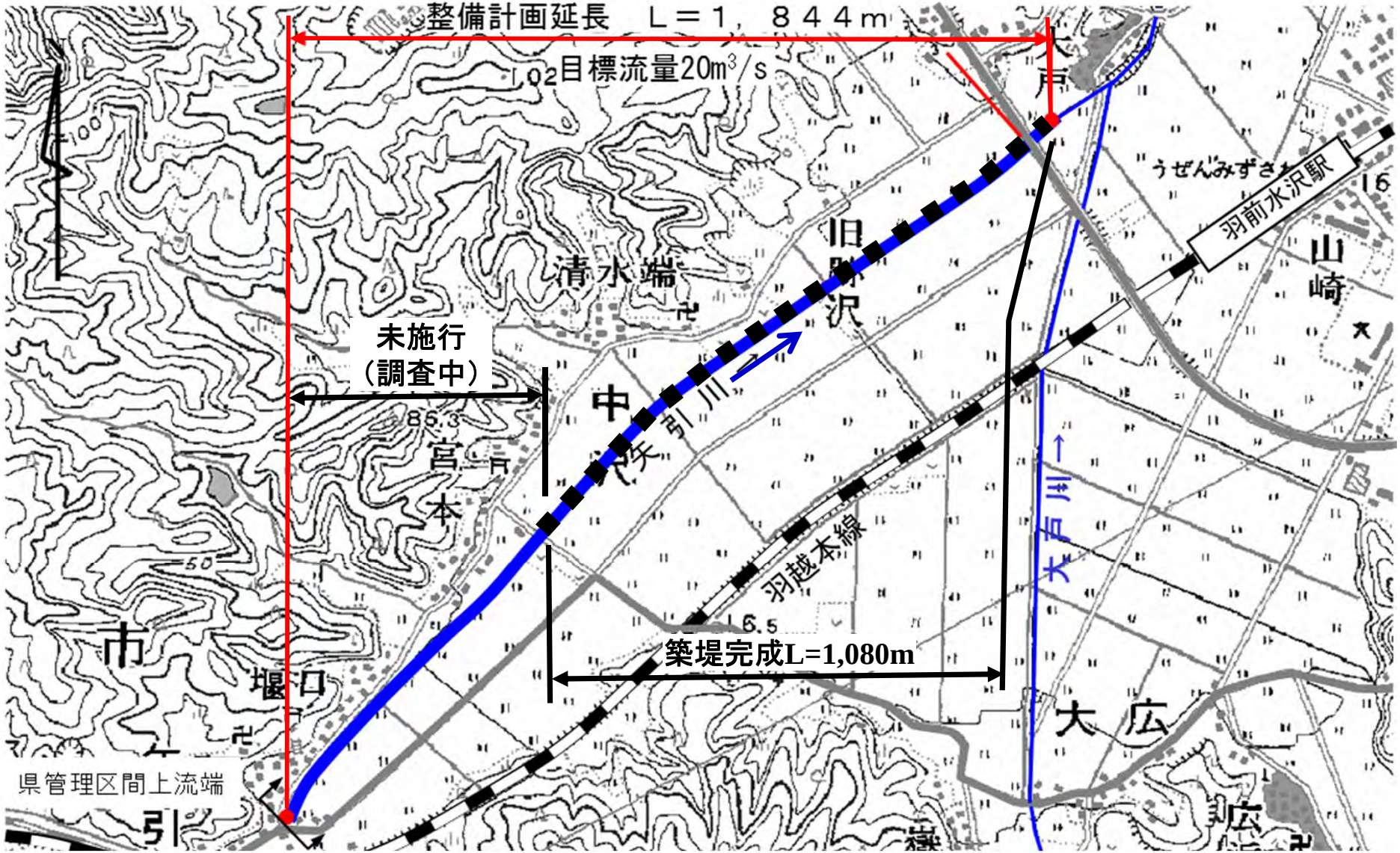
河道の整備	• 築堤・河道掘削により流下能力を拡大する。
配慮事項	• 景観、生物等に配慮し、広く住民の意見を取り入れながら自然環境の保全に努め、親水性にも配慮する。 • 護岸は、治水上、必要最小限の設置とし、自然環境に配慮したタイプを採用する。 • 河川工事に際しては、濁水の流出防止等に配慮する。



矢引川標準断面図（目標流量20m³/s）

【矢引川】の進捗状況

全体事業費　　:15.8億円、　　事業期間:H元～H32
H26末進捗率　:全体64%　（工事51%、用地補償96%）



赤川水系流域懇談会

山形県内における平成26年7月洪水の概要

平成26年12月19日

山形県　県土整備部　河川課

H26. 7/9～10豪雨の概要

■降雨の概要

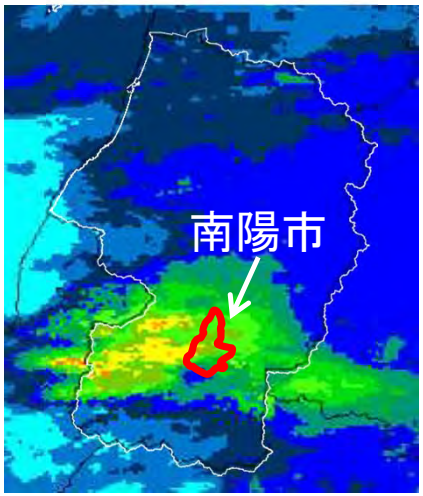
停滞する梅雨前線に台風8号の湿った空気が流れ込み、県南部を中心に7月9日～10日にかけて非常に激しい降雨となった。

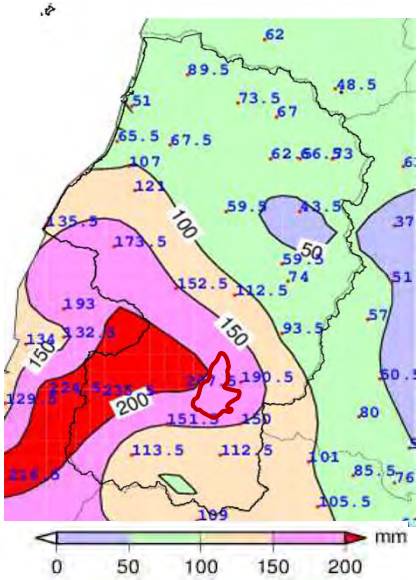
1　主な観測地点における日降水量

観測地点	２６年７月９日	２５年７月	備考
小　国	２１５．５	６８．０	７月の観測史上２位
長　井	１８３．５	１５６．０	観測史上１位
上山中山	１６９．５	１０３．０	観測史上１位
荒　沢	１４４．０	１２８．５	７月の観測史上２位
高　畠	１２９．０	１５７．５	７月の観測史上２位

2　主な観測地点における日最大１時間降水量

観測地点	２６年７月９日	２５年７月	羽越水害時	備考
小　国	６７．５	３０．５	７０	観測史上２位
長　井	４７．５	５３．０	３２	観測史上４位
上山中山	５４．５	４５．０	－	観測史上１位
荒　沢	４６．０	４１．０	－	７月の２位
高　畠	２９．０	５４．０	－	





（H26. 7. 11　山形地方気象台災害時気象資料）

H26. 7/9～10豪雨の被害概要

■被害状況

河川水位の上昇により9市町で避難指示・勧告等が出されたほか、土砂崩れによる道路通行止めにより4市町で孤立集落が発生した。また、南陽市の吉野川や織機川で大規模な洪水被害が生じた。

H26.10.8
山形県災害対策本部資料

【人的被害】

・負傷者 軽傷者 1名

【避難指示・勧告等】

・9市町 139地区 9，868世帯

【孤立集落】

・4市町（上山市、南陽市、白鷹町、小国町）9地区

【建物被害】

（住 家） 計 632 棟

全壊 1棟、半壊 8棟、一部損壊 1棟、床上浸水 192棟、床下浸水 430棟

（非住家） 計 408 棟

全壊 1棟、浸水 407棟

【公共土木施設等】

（1）道 路

被害箇所数166箇所（国道8箇所、県道28箇所、市町村道130箇所）うち通行規制 50箇所

（2）河 川

4河川で越水、70河川 324箇所 で護岸欠壊、河道埋塞等の被害発生

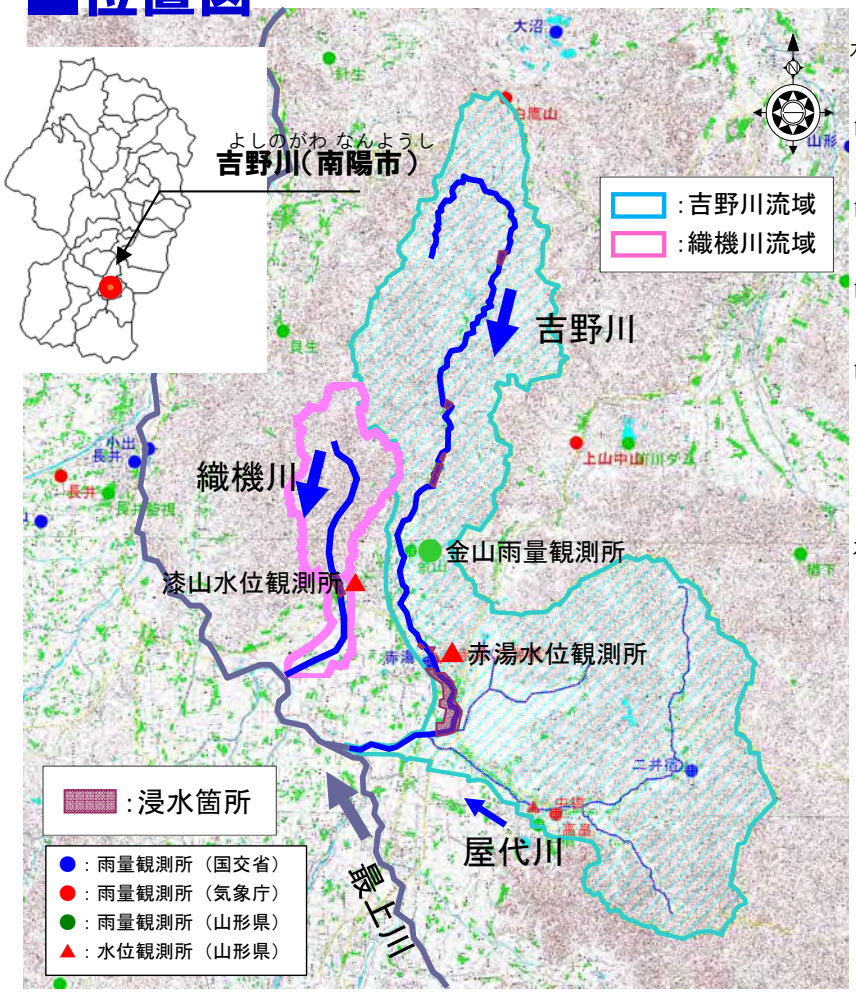
（3）土砂災害関係

23箇所 でがけ崩れ、土砂流出等の被害発生

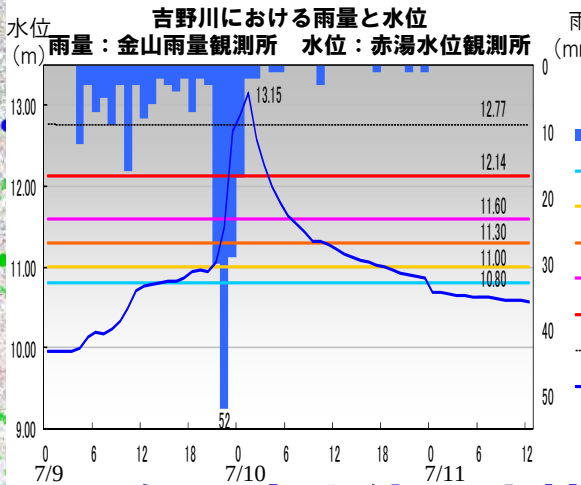
H26. 7/9～10豪雨時の吉野川・織機川の状況

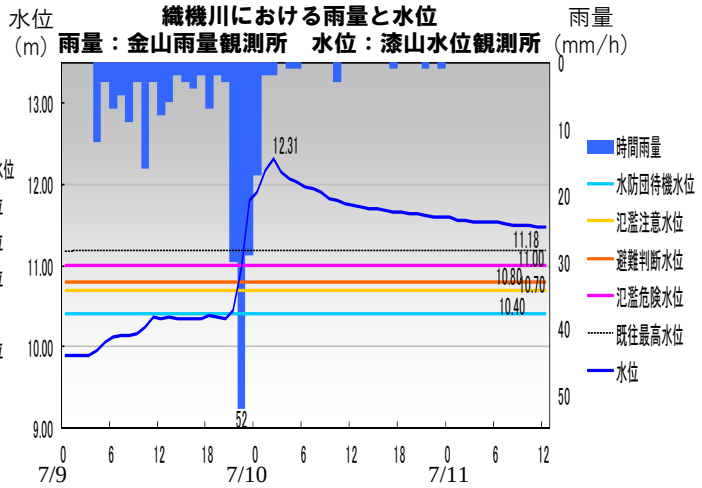
吉野川の赤湯水位観測所及び織機川の漆山水位観測所では、観測史上最高の水位を記録した昨年7月をさらに上回る水位を記録し、両河川の流域では甚大な洪水被害が発生した。

■位置図

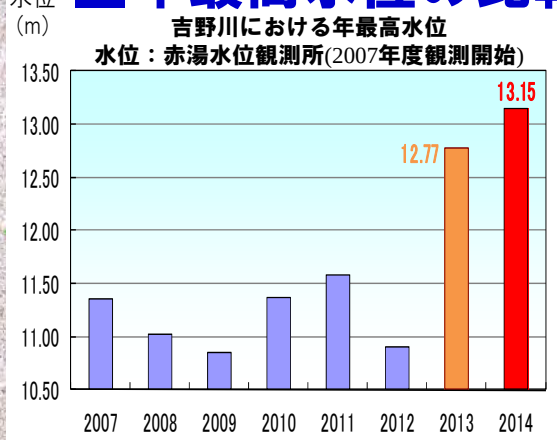


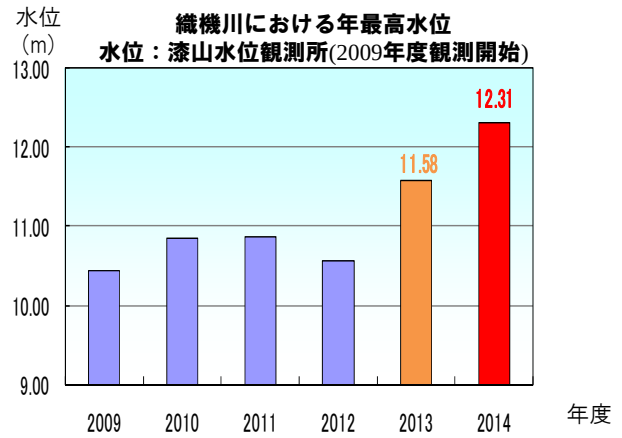
■水位・時間雨量





■年最高水位の比較





【吉野川】流域の被害状況（赤湯～宮内～金山）

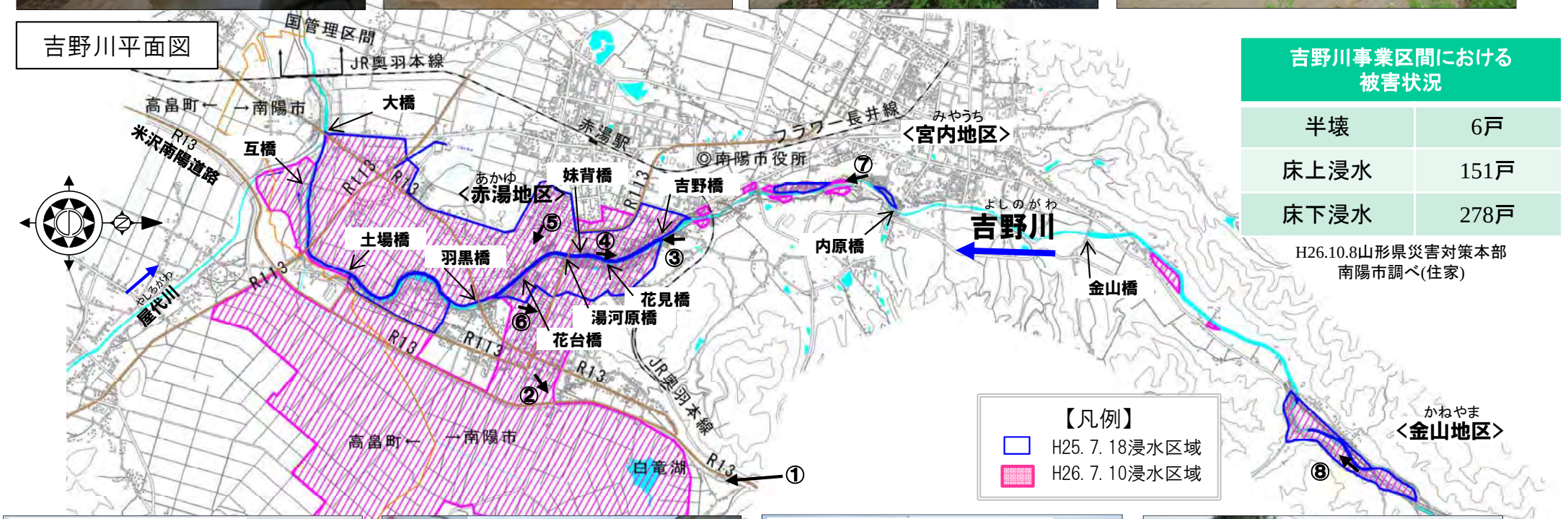

⑤市街地浸水状況


⑥家屋浸水状況


⑦取水施設被災状況


⑧市道橋落橋状況

吉野川平面図



吉野川事業区間における被害状況

半壊	6戸
床上浸水	151戸
床下浸水	278戸

H26.10.8山形県災害対策本部
南陽市調べ(住家)


①白竜湖周辺湛水状況


②市街地端部浸水状況


③市道妹背橋　流木による河積阻害


④市街地出水痕

【織機川】中下流域の被害状況


①東屋敷橋被害状況


②東屋敷橋被害状況


③東屋敷橋上流右岸被害状況


④フラワー長井線被害状況

織機川平面図

■:浸水範囲
■:半壊・床上浸水(18戸)
■:床下浸水(20戸)
ー:被災箇所(施設)
■:被災箇所(埋塞)

H26.10.8山形県災害対策本部
南陽市調べ(住家)

⑤漆山水位観測所状況
土砂による河道埋塞

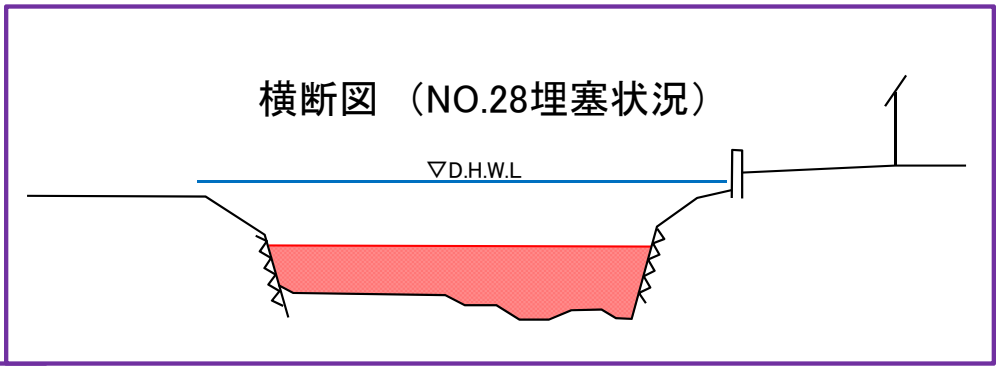
↑漆山水位観測所
H25.8.6(通常時)

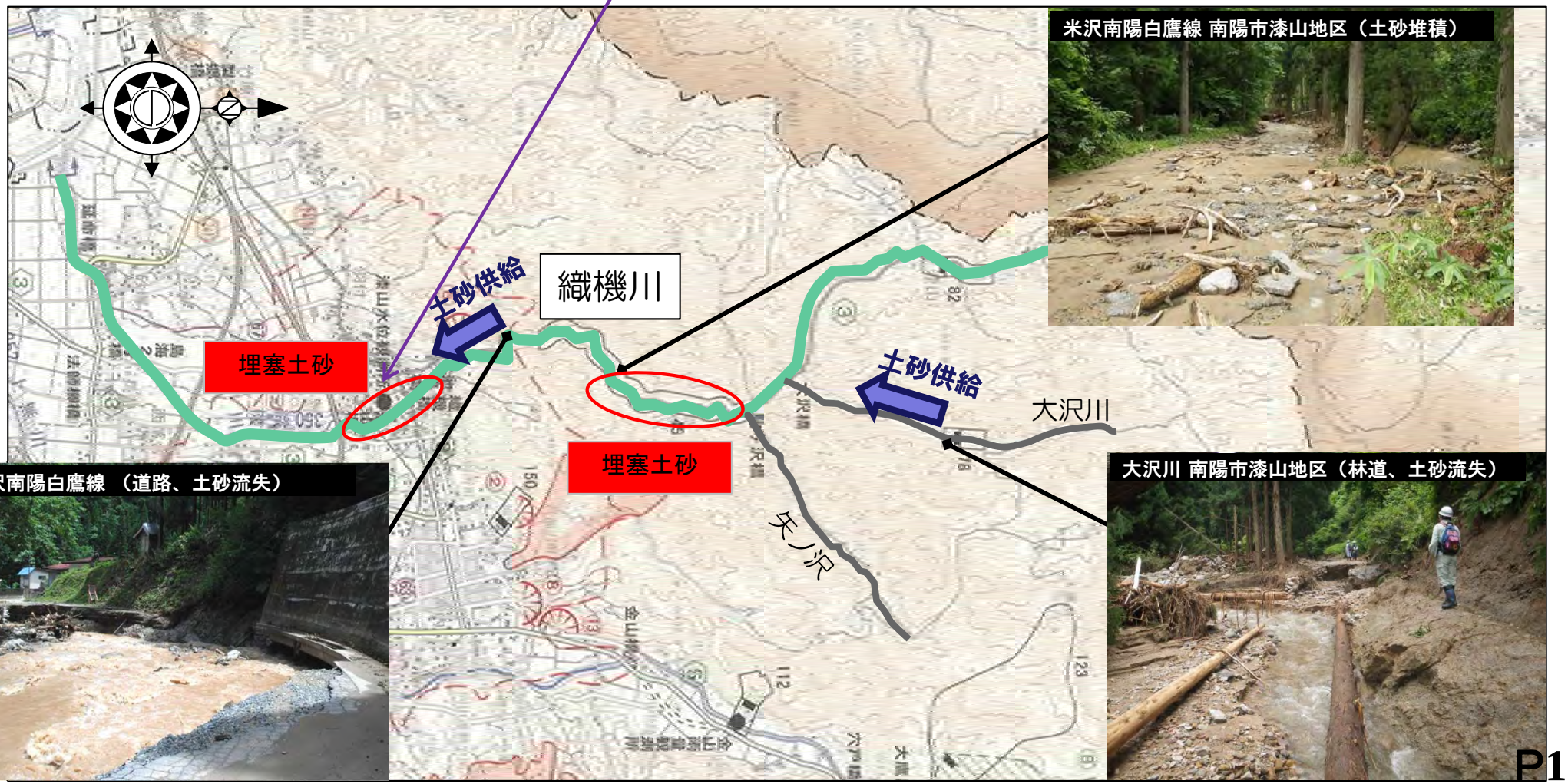
⑥浸食による護岸欠壊

⑦四谷橋被害状況

【織機川】上流域の被害状況

- 洪水初期の河床低下により護岸欠壊し、その後上流の河岸浸食や県道・林道の路体流出等により発生した土砂が狭窄部の直上流部に流木などと共に異常堆積した。
- 水位が急激に上昇、溢水したことにより、周辺の家屋の浸水被害や、護岸天端からの浸食による施設被害が発生した。





災害対応に係る河川整備計画の変更

【吉野川】
　平成25年度から災害関連事業及び河川災害復旧等関連緊急事業による河川改修を実施中であるが、今年度の被災流量に合わせ、計画流量を210m3/s → 230m3/s（関連）、270m3/s（復緊）に変更する。
【織機川】
　今年度から新たに災害関連事業による河川改修を実施する。計画流量は被災流量に合わせて60m3/s。

　上記事業の実施に当たり、最上川水系置賜圏域河川整備計画（知事管理区間）の変更が必要。
　変更（案）について、住民公聴会での説明（10月）、最上川水系流域委員会での審議（11月）及び関係機関協議を経て、現在、年内の国土交通省への申請に向けて作業中。